概 況

#### 〇令和6年度の経営状況について (金額の単位は百万円)

売上高 1,380 前年度比 75 7 営業利益 259 前年度比 97 当期純利益 287 前年度比

入居率 令和 6 年度末現在 91.5% ( 令和 5 年度末現在 91.5%)

### 〇令和6年度決算

### (1) 前年度決算比

(単位:百万円) 6年度決算 5年度決算 増減 ①-② 増減説明 75 賃料収入+32 クレジット手数料収入+25 使用料収入(電気·水道)+11 売上高 1, 380 1, 305 営業費用 1, 052 69 水道光熱費+41 クレジット手数料+17 業務委託費+14 1, 121 259 252 営業利益 大阪市指定喫煙所設置補助金の増+29 雑収入の増+7 固定資産除却損の減+4 税引前当期純 272 221 利益 法人税等 法人税等調整 31 **4** 46 当期純利益 287 190 97

# (2) 当年度予算比

(単位:百万円)

	6 年度決算 ①	6 年度予算 ③	増減 ①-③	増減説明
売上高	1, 380	1, 319	61	賃料収入+17 クレジット手数料収入+27 使用料収入(電気·水道)+9
営業費用	1, 121	1, 089	32	水道光熱費+35 クレジット手数料+18 修繕維持費▲24
営業利益	259	229	30	
税引前当期純 利益	272	209	63	雑収入の増+16 大阪市指定喫煙所設置補助金の増+12 固定資産除却損の減+3
法人税等	0	0	0	
法人税等調整 額	<b>1</b> 5	0	<b>1</b> 5	
当期純利益	287	209	78	

資料1

公開

○当期資金残喜	(中期経営再建計画における事業経営に関する目標)	(単位:百万円)
人马别貝亚%同	(甲期辞呂冉廷計画における事耒辞呂に関りる日標)	(単位・日/27日/

	計画名称	中期経営計	画(2021年度	~2025年度)	計画期間	令和3年度~	~令和7年度
+15	七十年	前計画最終年度	計画初年目	計画2年目	計画3年目	計画4年目	計画5年目
	指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標	2, 028	1, 945	1, 929	1, 861	1, 805	1, 728
	実績	1, 988	1, 976	1, 927	2, 003	1, 795	_

### 〇令和7年度予算

(単位・百万円)

						(単位:白万円)
	7 年度予算		6年度決算		増減	144 <b>-</b> 44 - 24 - 14
	4	売上高に 対する構成比	1	売上高に 対する構成比	4-1	增減説明 
売上高	1, 429	100. 0%	1, 380	100. 0%	49	賃料収入+46
営業費用	1, 145	80. 1%	1, 121	81. 2%	24	修繕維持費+11 業務委託費+11
営業利益	283	19. 8%	259	18. 8%	24	
税引前当期純 利益	215	15. 0%	272	19. 7%	▲ 57	大阪市指定喫煙所設置補助金の減▲29 利率改定による支払利息の増▲38
法人税等	0	0.0%	0	0.0%	0	
法人税等調整 額	0	0. 0%	<b>1</b> 5	-1. 1%	15	
当期純利益	215	15. 0%	287	20. 8%	<b>▲</b> 72	

団体名: クリスタ長堀株式会社

所管局: 建設局

## 年度目標(令和7年度)の達成に向けた取組

実施事項】 収入の確保 )賃料収入の確保	(これまでの取組内容)		
* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	(ニョレみ しマノリスがエドリ合)	(成果)	(今後の目標及び取組)
* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	○空き区画の解消	○賃料収入の推移	◎賃料収入
ノ 貝 イトトイメ乂 /\ ソノイ唯1木	空き区画 7 区画 (R7.7 末現在)	R 2 年度 955 百万円	令和7年度 1,021百万円 (中期経営計画(R7年度)1,017百万円)
・空き区画の解消	催事店舗 3 区画(R7.7 末現在)	R 3 年度 876 百万円	◎入居率(年度末)
・催事店舗の活用	フリーレントの活用等により空き区画解消	R 4 年度 934 百万円	令和7年度 100% (中期経営計画(R7年度)100%)
・柔軟な契約内容の検討		R 5 年度 941 百万円	
・既存テナント賃料増額の推進	○既存テナント賃料増額:	R 6 年度 974 百万円	○空き区画の解消
・地上の人流を地下街に呼び込む方策	契約更新時の賃料増額の割合	22 2 7 20 27 2 12 17 17 1	緊急的な対応として催事店舗などを活用するとともに、当地下街に
, a = , , , , , , a = , a , , , , , , ,	2023:13%(減額 40%、同額 47%)	○テナント売上高	致した経験のない業態もリーシング対象として排除せずに取り組む。
)賃料以外の収入増	2024:33%(減額6%、同額61%)	R 2 年度 61 億円	また、誘致が困難となっている要因の一つである初期費用を一部当社
・イベントスペース・コインロッカーの利用拡大	2025:33%(減額0%、同額67%)[第1四半期]	R 3 年度 60 億円	負担すること等柔軟な契約内容について賃料による早期回収を前提条
1	2020 : 00/0 (1941) 0/0 (1941) 1 1 1 1 1931	R 4 年度 71 億円	として検討する。
	○コインロッカー収入の増	R 5 年度 76 億円	
<b>旨標及び目標</b> 】	R6:32 百万円 (前年比 9.3%増)	R 6 年度 80 億円	○地上の人流を地下街に呼び込む方策
成果指標(単位) 6年度実績 7年度目標	10.02 [ /3   1 (hij + 26 3. 8 / 02   1 )	K 0 平及 00  图[1	地下街出入口サインの改良、万博・インバウンド向けの各種施策や行
	○イベントスペース使用料収入の増		堂筋で実施されるイベントとの連携などにより、集客を図る。
料収入(百万円) 974 1,021	R7 第 1 四半期: 157 万円(前年同期比 128%増)	○年間入室率(年度末)	主がく大地ですります。
居率(年度末)(%) 91 100	(1 分 1 四十刻 1 10 7 7 1 (前 十四 刻 2 120 / 0 2 1	R 2 年度 95%	○大型複合施設ビル(新町交差点北東角)との連携による集客・増収策
	○地上の人流を地下街に呼び込む方策	R 3 年度 95%	令和8年に心斎橋駅と直結する大型複合施設ビル((仮称) 心斎橋プ
	・御堂筋に隣接する3か所の出入口サイン改良	R 4 年度 94%	ジェクト)の来街者やオフィスワーカーの方を地下街に呼び込むための
	<ul><li>・みちの未来体験 EXPO との連携</li></ul>	R 5 年度 91%	案内サインの設置や宿泊施設との連携(宿泊特典)、更には、地下街広行
	・インスタグラム、WEB サイト等を活用したイ	R 6 年度 91%	※バッインの設置で信泊施設との建場(信泊行典)、更には、地下街広口 枠の使用等について調整中である。
	ンバウンド向けプロモーションの実施	K 0 平皮 91/0	一日の文用寺に フV・C調査中 Cのる。
<b>E施事項</b> 】	(これまでの取組内容)	(成果)	(今後の目標及び取組)
マルーディー 収益の確保			
)支出の削減	○賃料収入を主とする地下街収入の確保	○税引前当期純利益の推移	◎税引前当期純利益
・地下街運営事業の効率化	C (27 th )(c)) b	R 2 年度 298 百万円	令和7年度 215 百万円 (中期経営計画(R7年度)214百万円)
・必要最小限の職員体制	○経費削減	R 3 年度 230 百万円	◎一般管理費
* 必要取小取り職員评問	・地下街運営委託料の見直し	R 4 年度 211 百万円	令和7年度59百万円(中期経営計画(R7年度)69百万円)
)売上原価(維持修繕費など)の抑制	H28 年度~ ▲35 百万円(年間)	R 5 年度 221 百万円	
	・販売促進費(テナント会)の削減	R 6 年度 272 百万円	○一般管理費の抑制
・地下街設備の効率的な更新、修繕維持	R1 年度~ ▲ 7 百万円(年間)		人件費などの諸経費の抑制
	R7 年度 ▲7 百万円(年間)	C VI A ab la	
		○資金残高	○売上原価の抑制
旨標及び目標】	○地下街設備(電気・機械)の更新	R 2 年度 1,988 百万円	地下街設備について安全に留意しつつ支障のない範囲で、修繕維持
成果指標(単位) 6年度実績 7年度目標	予防保全の考え方に基づき計画的に設備更	R 3 年度 1.976 百万円	の抑制を図る。
引前当期純利益(百万円) 272 215	新を行い、一時的に多額の資金需要が起こる	R 4 年度 1,927 百万円	
般管理費(百万円) 59 59	ことがないよう、期間内(中期経営計画)の経	R 5 年度 2,003 百万円	○設備投資
	費平準化を図る。	R 6 年度 1,795 百万円	地下街の電気・機械設備及び土木建築施設の更新について、「中期経行
			計画」(R3~R7 年度)の設備更新計画をベースとしつつ、老朽度などを
			極め、適宜優先度を判断しながら、予防保全の考えに基づき実施する。